

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

令和元年度学校関係者評価 報告書

川口文化服装専門学校 学校関係者評価委員会

令和2年6月

## 目次

1. 報告書骨子 .....	2
2. 学校関係者評価 評価方法について .....	2
3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言 .....	3-7
3-1. 教育理念・目標（専門課程・高等課程） .....	3
3-2. 学校運営（専門課程・高等課程） .....	3
3-3. 教育活動（専門課程・高等課程） .....	4
3-4. 学修成果（専門課程・高等課程） .....	4
3-5. 学生・生徒支援（専門課程・高等課程） .....	4
3-6. 教育環境（専門課程・高等課程） .....	5
3-7. 学生・生徒の受入れ募集（専門課程・高等課程） .....	5
3-8. 財務（専門課程・高等課程） .....	6
3-9. 法令等の遵守（専門課程・高等課程） .....	6
3-10. 社会貢献・地域貢献・特別活動等（専門課程・高等課程） .....	6
3-11. 国際交流（専門課程） .....	7
5. 学校関係者評価を受けて .....	7

## 1. 報告書骨子

学校関係者評価委員会（以下、等委員会）は、「川口文化服装専門学校 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。

当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している。委員構成は下記「2.学校関係者評価委員」に記載の通りである。

本報告書は、令和元年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ、作成したものである。

本報告書の作成にあたり、当委員会の委員の方々にはお忙しいところご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

## 3. 学校関係者評価 評価方法について

令和元年度の学校関係者評価は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面および電話連絡による方法で実施した。

**評価実施者：**委員 4 名（企業関係者 2 名、保護者・地域住民 1 名、元教育従事者 1 名）

**配布資料：**川口文化服装専門学校 学校評価実施要項  
項目別の自己評価結果表  
学校関係者評価 評価記入シート

#### 4. 学校関係者評価委員会による自己評価への提言

令和元年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

##### 1 教育理念・目標

###### 【本校の現状】

服装に関する技術教育・職業実践教育と併行して教養と創造性の育成、及び常に変化していく現代社会にあってム図からの在り方・生き方を考え、主体的に行動し積極的に自己実現していくにふさわしい人材育成を教育理念としている。専門課程 2 学科（服装科・服飾専攻科）、高等課 1 学科 2 コース（服装科 高校併修コース・洋裁コース）を設置している。少人数クラスでそれぞれ基礎から知識を学び「着たいもの」が「作れるもの」になる技術及びクリエイターとしての感性を備えることで、職業人・産業人として社会で能力を発揮できる人材を目指して、専門学校の本分を遂行するため適切に設置している。

###### 【学校関係者評価委員会からの提言】

少人数クラスでの実践教育は学生一人一人に教員の目が行き届きやすい環境である点は評価できる。また、体験入学等の行事を通して、学校側と学生側のお互いのニーズをチェックすることで入学後のミスマッチを減らす努力を行っている。しかし一方で、留学生が多数在籍する中、入学後の興味・関心の低下が懸念される。

##### 2 学校運営

###### 【本校の現状】

「大学等の修学の支援に関する法律」による修学支援の対象機関となる確認大学として認定されたことに伴い、これまで以上に広く学校情報を公開する環境の整備を見直す機会となった。法人としての規程の整備や情報公開に関する取組みには向上した点もみられるが、さらに改善の余地はある。

また、意思決定に関しては教職員の意見交換の場をより積極的に設けることで、学校運営の活性化につなげていきたい。

###### 【学校関係者評価委員会からの提言】

今後も WEB サイトや SNS 等を活用した情報公開の活性化が必要だと考えられる。近年の他の教育機関（特に私立学校）の運営と比較すると“昔ながら”の運営と感ずる部分がある。全国の連鎖校との情報交換等を定期的に行い、改善に努めている点は評価したい。教育の最前線に立つ教職員と運営責任者の距

離が近く、意思決定はしやすいと感じる。運営のシステム化を進める必要がある。

### 3 教育活動

#### 【本校の現状】

基礎を重視した専門教育を土台として知識修得・実習を体系づけた学習を実践している。業界的にも進路実現のさらなる支援が必要であり、これまで以上に個々の学生の希望進路の実現にむすびつけられる職業実践教育の活性化が求められる。そのためにも資格取得は積極的に取り組んでいる。

#### 【学校関係者評価委員からの提言】

教員の数の増加は急務である。優秀な学生の輩出のためにも、教員の研修・指導力育成など資質向上のための取組が益々必要だと感じる。専門性の問われる業界のニーズに則したカリキュラムを組み、教育が行われていると思う。あわせて関係団体・企業への視察も行い、学生の知見を高め、社会を知る機会の創出に努めていると感じる。産学連携の実現が望ましい。一方で伝統的校風を守ることも大切だが、新しいことを積極的に取り入れていくことも重要である。

### 4 学修成果

#### 【本校の現状】

卒業生・在校生の進路相談等については個別に対応するなどしているが、留学生をはじめ希望の進路実現に難航している点は否めない。ハローワークの講師の方をお招きして学生にセミナーを実施したり、求人応募のアドバイスなど段階的にはあるが、学生の進路実現に向けて尽力している。

#### 【学校関係者評価委員からの提言】

日本人学生、留学生ともに個々の学生の希望を尊重した丁寧な進路指導が必要である。また、卒業生の進路把握に関してもさらに把握・支援に努めてもらいたい。

### 5 学生・生徒支援

#### 【本校の現状】

「高等教育の修学支援新制度」に伴う給付奨学金や、日本学生支援機構の「留学生学習奨励費」等の公的な支援制度により、優秀であり経済的に不安がある世帯の学生の学習を経済面で支援できる体制を整える準備ができたことは、今後の学習支援に役立つと考える。また、専門課程は留学生の人数の割合が高く、

学費の支払い等経済面で苦勞している学生に対しては、学校として支払の猶予などを実施している。しかし、留学生をはじめとした退学者・除籍者の主な原因は出席不足や学費未納などの理由が中心であり、退学・除籍者数の減少のためにも生活面の支援体制の見直しが必要だと考える

#### **【学校関係者評価委員からの提言】**

留学生を中心に経済的な理由で退学者が出ていることは事実だが、独自のサポート体制の構築で減少に努めている点は評価したい。小規模校だからこその学生・保護者との意思疎通を緊密にすることは今後も必要であると考え。また、少人数である環境を活かし、のびのびと楽しい学生生活を送れる環境の構築を希望する。今後も経済的にも生活面にも支援が必要な学生が多くなることも懸念される。高等課程についても就職・進学先情報の提供をより一層充実させるべきだ。基本的な生活習慣については教員の指導が行われていると思うが、校外での制服の着衣の乱れが見られることもあるので、改善を求める。

### **6 教育環境**

#### **【本校の現状】**

施設の老朽化が著しい。消防設備点検や耐震診断など、緊急時に備えた点検は実施しているが、修繕が必要な部分も多く改善を要する。教室備品の老朽化や破損に伴う新規購入は担当教員と校長の相談の上、適切に整備している。

#### **【学校関係者評価委員からの提言】**

校内施設の老朽化の進行は否めない。設備整備は学生の意欲向上にも通じるところがあり、大規模修繕は難しいと思うが、部分的に修繕を進めていけると良い。防災面でもヘルメット等の貸与等で地震等から身を守るための対策を整備すると尚良い。喫煙をしている学生もおおり、喫煙所で分煙はしているものの、幼稚園が併設されていることも踏まえて禁煙に向けて配慮が必要だと考える。

### **7 学生・生徒の受入れ募集**

#### **【本校の現状】**

募集に関わる人員の不足もあり、学校訪問先が限られてしまった。在校生・卒業生の母校への資料送付やSNSを通じて学校の情報を公開することに力を入れた。しかし、学生数の増加に至らなかったため、より広報活動に力を入れていく必要がある。

#### **【学校関係者評価委員からの提言】**

規模的な問題もあり、少人数指導を行っていることと思うが、それが1つの

強みでもあると考える。日本人の入学生もさらに増加させることができれば尚良い。校舎周辺での募集ポスターの掲示はわかりやすいと思う。川口市という利便性の良い地域にあるので、積極的に SNS 等を活用する等の工夫が必要だと思う。また、入学者の中には自身の悩みを抱える学生など、広く手を差し伸べる姿勢は評価したい。

## 8 財務

### 【本校の現状】

終止計画の見通しを明確にすることが求められる。支出内容を見直し、財務基盤の安定・改善をはかる必要がある。財務情報については学内設置で公開可能ではあるが、広く公開するための環境については検討する必要がある。

### 【学校関係者評価委員からの提言】

会計監査を適正に実施しているといえる。現在小規模校ということもあり、今後の少子高齢化がさらに進行することを考えると財務面に不安あり。日々の収支の確認・見直しを通してみえてくるもの

## 9 法令等の遵守

### 【本校の現状】

広報活動での SNS 活用など広く学校情報を展開する上で、学生・保護者と学校間での個人の作品の掲載等の承諾書の取り交わしを行い、個人情報保護の観点を重視した取組を実施している。また、自己評価結果についても年度内に実施・公開をした。自己評価をもとにした具体的な改善には時間を要する点も多い。

### 【学校関係者評価委員からの提言】

法令・コンプライアンス等に関しては概ね問題点は見受けられないと考える。法令・個人情報管理は特に今後も適切な対応が必須である。自己評価結果をもとにした改善がよりスピーディーにされるとよい。

## 10 社会貢献・地域貢献・特別活動等

### 【本校の現状】

家庭の所得状況や一人暮らしの生活維持のために放課後にアルバイトをする必要がある学生が大半であり、ボランティア活動などをする学生が少ないのが現状である。今後も学生に無理な負担がかからない範囲で、ボランティア活動や地域活動情報等の紹介を充実させるように努めたい。

### 【学校関係者評価委員からの提言】

地域に根差し、学生に無理のない範囲で社会貢献・地域貢献をしていくことが今後ますます必要となる。地域との連携機会の創出、ならびに学校行事等で地域の方々に学校を知っていただく機会を増やしていくことが求められる。

また、高等課程は連携校でのクラブ活動等課外活動にも積極的に参加できる環境を構築できるとよい。

## 11 国際交流

### 【本校の現状】

東南アジア系の国を中心に留学生を受け入れている。語学力不足の学生もいるが、日本語の授業などで補助をしながら、日常的には授業はすべて日本語で対応している。日本語能力検定の合格を目指し、日頃から自主的に学習する学生もおり、学校生活を通して日本語の修得に取組める環境づくりには今後も力を入れていきたい。一方で、入学後登校日数が減少したり、連絡をこまめにとりにくい学生も少なくないので、より留学生の生活指導は徹底していく必要がある。

### 【学校関係者評価委員からの提言】

留学生の積極的な受入れを行っている点は大いに評価できる。地域柄、外国の方も多いので、現状を踏まえて留学生の受入れ・派遣について戦略を練っていく必要があると考える。様々な国の留学生がいるため、安心して生活ができるようなコミュニケーションや支援が必要になる。安定すると、交流やボランティアなどへの参加にもつながっていくと思う。

## 5. 学校関係者評価を受けて

校内での教職員により実施した自己評価結果をもとに、外部委員の方々には学校運営ならびに教育活動について具体的なご意見を頂戴し、ご尽力いただき誠に感謝申し上げます。幅広い視野での提言を頂戴したことで、内部からの視点だけでは見えていなかった点にも気づきを得ることができ、改めて外部評価の重要性を感じました。今回いただいた委員の方々からの提言で早急に取り組むべき課題を精査し、職員会議等で学内に共有し、次年度の改善目標とする予定です。特に、学生募集や財政基盤の安定は急務であるため、より広い視野で具体的な対応策を検討していきます。

今後とも自己評価ならびに学校関係者評価を継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存です。